



平成 28 年 2 月 29 日

各 位

会 社 名 S B S ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 鎌 田 正 彦
 (コード番号:2384 東証第一部)
 問 い 合 せ 先 I R ・ 広 報 部 長 福 岡 正 洋
 電 話 番 号 0 3 - 3 8 2 9 - 2 2 2 2 (代 表)

平成 27 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び 剰余金の配当(無配)に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 12 月期(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)通期業績予想値と本日公表の実績値について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、これを受けまして平成 28 年 2 月 29 日開催の取締役会において、平成 27 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当(期末配当)を見送ることを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 12 月期通期連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 又は 当期純損失	(単位:百万円) 1株当たり 当期純利益 又は 当期純損失
前回発表予想 (A)	165,000	5,500	4,900	3,800	96 円 89 銭
今回実績値 (B)	157,996	5,347	5,772	△3,815	△96 円 84 銭
増 減 額 (B-A)	△7,004	△153	872	△7,615	—
増 減 率 (%)	△4.2	△2.8	17.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	141,535	4,098	3,648	2,725	69 円 77 銭

(注) 当連結会計期間より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 30 号 平成 27 年 3 月 26 日)を適用しており、前期実績についてはこれを遡及適用した前期の数値を用いております。

2. 差異の理由

売上高は、海外事業が国際貨物量の減少などにより計画値に届かず未達となりました。営業利益は、燃料価格の低下や値上げ効果があった一方で、国内の一部事業や海外事業の赤字により若干計画を下回りました。経常利益は、為替差益 5 億 8 百万円が加わったことから計画を上回りました。当期純利益は、インドの連結子会社にかかる特別損失 119 億 66 百万円を計上したため大幅な当期純損失となりました。なお、特別損失の詳細は、本日公表の「海外連結子会社にかかる特別損失の計上及び当該連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 剰余金の配当(無配)について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成27年2月13日公表)	前期実績 (平成26年12月期)
基準日	平成27年12月31日	同左	平成26年12月31日
1株当たり配当金	00円00銭	16円00銭	15円00銭
配当金総額	—	635百万円	595百万円
効力発生日	—	平成28年3月8日	平成27年3月9日
配当原資	—	利益剰余金	利益剰余金

(2) 理由

「1. 平成27年12月期通期連結業績予想と実績値の差異」のとおり、平成27年12月期連結当期純損益が38億15百万円の赤字となったことから、誠に遺憾ながら、期末の剰余金の配当を見送らせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

平成28年12月期の配当につきましては、本日公表の「平成27年12月期決算短信」に記載のとおり、通常の期末配当16円に加えて、当期は平成28年3月31日を基準日とする四半期配当16円を予定しております。

以上